

C—73 日本婦人の体型に関する被服構成学的研究
(第1報)

—40 才台婦人の体型の特徴について—

十文字学園女短大	○古松	弥生
新潟大教育	清水	薫
東横学園女短大	武藤	治子
お茶の水女大家政	鈴木	啓子
横浜国大教育	増田	順子

1. 私共は、被服構成学の立場から、日本婦人の体型の特徴を把握することを目的として、身体計測による基礎調査を行っている。今回は40才台婦人の体型の特徴について検討を試みた。

2. 資料は1969年6月から9月に計測した東京友の会に所属する40才から49才までの家庭の主婦70名の計測原票である。

研究項目は、長径7項目(身長・胴高・下肢長・袖丈・背丈・右肩中心→W.L. 後中心・右肩中心→W.L. 前中心)、周径8項目(胸囲・胴囲・腹囲・腰囲・頸付根囲・腕付根囲・上腕最大囲・大腿最大囲)、幅径7項目(背肩幅・胸部横径・胴部横径・腰部横径・胸部矢状径・胴部矢状径・腰部矢状径)、その他3項目(背部皮下脂肪厚・上腕部皮下脂肪厚・体重)、胴部形態に関係のある計算値7項目(胸部矢状径/胸部横径・胴部矢状径/胴部横径・腰部矢状径/腰部横径・胸囲-胴囲・腰囲-胴囲・胸囲-腹囲・右肩中心→W.L. 前中心-右肩中心→W.L. 後中心)。

3. 主な成果は次のようである。

①20 才台婦人と比較して 40 才台婦人が特に優れている主な項目は、上腕最大囲・上腕部皮脂厚・背丈・右肩中心→W.L.後中心・背部皮脂厚・腹囲である。②20 才台婦人では腹囲は胸囲よりも小であるが、40 才台婦人では腹囲の方が大である。③胸部・胴部・腰部における横径に対する矢状径の比率はいずれも 40 才台婦人の方が 20 才台婦人よりも大である。